



「トランス女性観の普及」(トランス女性観へようこそ)

問題提起

※時間と場所は左下をご覧ください。

資料代 500円

- 「『帝国の慰安婦』という植民地」 朴 裕河 (韓国・世宗大学教授)
- 「女性の貧困と差別」 雨宮 処凛 (作家)
- 「『植民地としての女性』を問う」 北田 幸恵 (城西国際大学教授)
- 井 Me Too、入学差別、ケア問題をから見えてくるもの
- 「国際人権法とジェンダー」 堀口 悦子 (明治大学教授)

コメンテーター 稲垣 真美 (評論家・交遊中) 加藤千香子 (横浜国立大学教授)
 座長 長谷川 啓 (女性文学研究者) 波田野節子 (朝鮮文学研究者)

●研究発表と講話 7月7日(日)

資料代 500円

早稲田大学3号館701教室 (7F)

① 研究発表 10時～12時

朱 彩雲 「田村(佐藤)俊子の上海・北京・南京—1938年12月から1942年5月まで」
 コメンテーター 黒澤亜里子 (冲縄国際大学教授)

楊 磊 「『清洲国』をいかに着飾るか—美人画ホスターにおける民族衣装を中心に」

コメンテーター 平石 淑子 (日本女子大学教授)

② 研究案内 13時15分～14時30分

岡田 英樹 (中国文学研究者、本会理事)

「『清洲国』文学研究の過去と現在—自伝的に」

主催 **植民地文化学会** (代表・西田 勝)

Tel.047-381-4595 詳細はホームページを。

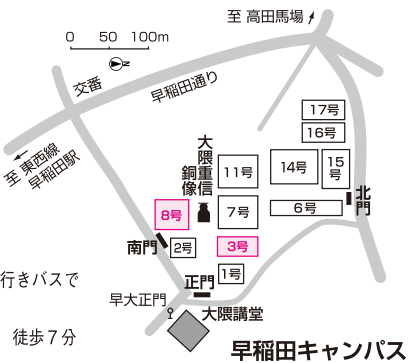
post card



〒279-0023

浦安市高洲六一一四一四〇一

植民地文化学会



新宿区戸塚町1-104

JR高田馬場駅下車 早大正門行きバスで

終点で下車徒歩 2分

地下鉄東西線 早稲田駅下車 徒歩 7分